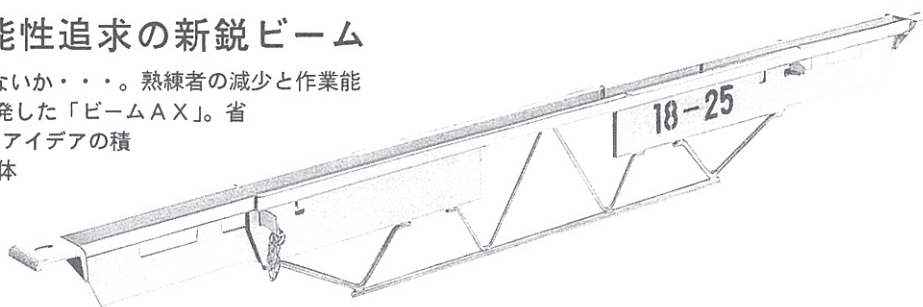


ビームAX PAT.

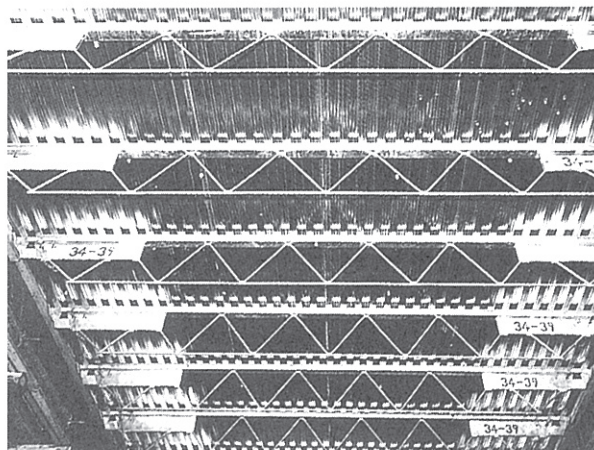
受金具一体化設計で機能性追求の新鋭ビーム

もっと組立て解体が簡単なビームができないか・・・熟練者の減少と作業能率の低下に悩む現場の声を汲み上げて開発した「ビームAX」。省力化施工を開発テーマに、小さなヒント・アイデアの積み重ねが従来の常識を破った〔受金具一体式〕設計に結晶しました。

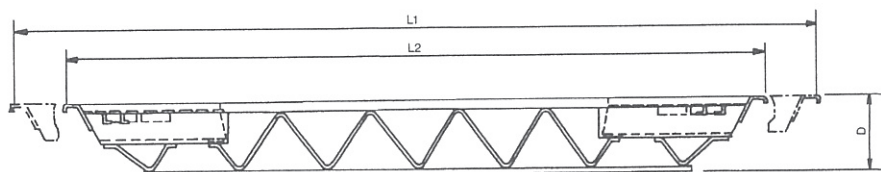


■特長

- サイドビームが受金具機能を備え作業性がグンと向上、しかも金具不要だから在庫管理もスムーズに。
- コンパネの固定はビーム上梁にサン木が入り、釘打ち固定で手間いらず。
- スパン調整はクサビ式で微調整が利き解体作業もワンタッチでOK。
- 2500mm対応はビームが19.0kg。強度確保と軽量化を合わせて実現。



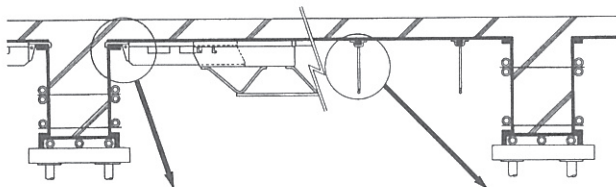
■仕様



コード	製品名	本体製品寸法 (mm)		重量 (kg)
		L1~L2寸法	D寸法	
AX11-14	ビームAX 11-14型	1120~1460	163	11.3
AX14-18	ビームAX 14-18型	1460~1825	163	12.5
AX18-25	ビームAX 18-25型	1825~2525	272	19.0
AX25-32	ビームAX 25-32型	2525~3225	322	23.0
AX32-39	ビームAX 32-39型	3225~3925	322	28.0
AX39-46	ビームAX 39-46型	3925~4625	323	35.0

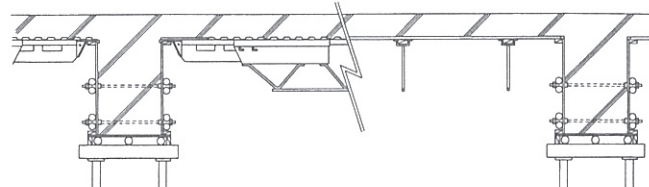
■ベニヤ施工例

メインビームにサイドビームをセットし、スパンに合わせてクサビで固定します。架設後サン木をビーム上梁に差し込み、ベニヤの継手部分を釘打ち固定、その後スラブを打設します。

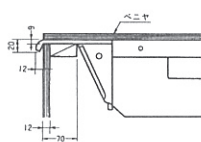


■キーストンプレート施工例

ビームAXをセットした後、キーストンプレートをじかに敷きつめ、四隅は梁型枠に釘打ち固定し、スラブを打設します。



●端部詳細図



※梁型枠の下ごしらえ時に、梁側板の寸法を、サイドビーム端部受板の厚み分(8mm)下げてください。なお、床版材と梁側板のすき間は埋木等でふさいで下さい。

●ベニヤ継手部詳細図



ベニヤ継手部分はコンクリート漏れを防ぐため、メインビームに差し込んだサン木に釘打ちし、固定します。

●床版用特殊キーストンプレート

キーストンプレートは、特に耐久性にすぐれ、つなぎ目部分からのコンクリート漏れがありません。ホリでは現場作業軽減のため、あらかじめ工場での必要寸法に切断加工の上、一括納品いたしております。

■仕様

※床版厚=0.5m 形状JIS
AKD-08 と同等
材質 S P H C 引張強さ=28kg/cm²
f_b=28/2=14kg/cm²、1,400kg/cm²
f_v=80kg/cm²
最大許容曲げモーメント
M=f_b・Z=1,400×6.38=8,932kg・cm
断面性能 曲げモーメント A=7.18cm³
Z=6.38cm³ I=7.98cm⁴



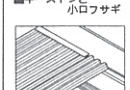
●キーストンと小ロフサギ

■小ロフサギ部詳細図



小ロフサギ部
小ロフサギ幅=55

■キーストンと小ロフサギ



小ロフサギでキーストン端部のコンクリート漏れを防ぎます。

